

■全国研究部門等の活動紹介■

音楽部門

代表 木下 大輔

1. 概要

部門の目的

部門は、会員相互の協力によって教育者養成を主とする大学・学部の音楽部門における質的向上及び音楽教育に関する学術の発展を図り、わが国音楽教育の振興に寄与することを目的とする。(日本教育大学協会全国音楽部門規約第4条)

沿革

1950年 「日本教育大学協会第二部音楽部門」として発足

1976年 第1回全国大会開催(以降毎年1回開催)

会報第1号発行(以降毎年1回発行)

1986年 「日本教育大学協会全国音楽部門大学部会」に改称

2005年 第30回全国大会記念誌『30年のあゆみ』発行

2015年 第40回全国大会記念誌『活動の足跡と今後の展望(2005-2014)』発行

2020年 「日本教育大学協会全国音楽部門」に改称(4月1日付適用)

会員総数

288名(2020年4月1日現在)

部門 Facebook ページ

<https://www.facebook.com/kyodaikyoongaku>

2. 活動について

全国大会の開催

毎年5月、年次定例総会の招集に合わせて全国大会を開催している。部門の事業を推進するため、研究会(全体会、分科会)、講演会などを行う。

2020年5月に福島市において開催予定であった第45回全国大会(開催大学:秋田大学・福島大学)は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により残念ながら中止となった。2019年開催の第44回全国大会の概要を以下に示す。

第44回全国大会(会場:高知市 高知会館 開催大学:高知大学)

日付	時刻	内容
2019年 5月10日(金)	13:00-14:50	音楽アウトリーチ検討委員会
	15:00-16:50	地区代表委員会

2019年 5月11日(土)	9:40-10:10	受付	
	10:20-11:50	分科会 (90分)	1. 吹奏楽部運営を取り巻く問題点～「部活動指導実践論」での取り組みを通じて
			2. さらなる授業改善の方法と実際〈グループワーク方式〉
			3. 教職大学院に求められる「教科性」とはどういうものか
	11:50-12:40	昼食 (50分)	
	12:40-14:10	総会 (90分)	
	14:30-14:55	全体会 1 分科会報告(25分)	
	15:00-16:30	全体会 2 音楽アウトリーチ検討委員会最終報告 「教員養成大学・学部と音楽アウトリーチ」(90分)	
	16:30-16:40	閉会の辞	
17:30-19:30	情報交換会		

地区会の活動

日本教育大学協会の地区会組織に合わせ、当部門も9つの地区会を構成している。各地区会は原則として年1回の地区総会を開催している。地区によっては研究会を実施しているところもある。

地区代表委員会

部門代表、副代表、事務局長、9地区代表委員の計12名で構成され、2年間の任期中に4回の定例会議が開催される。会議では総会に提案する議案などの審議が行われるほか、各委員は各地区所属大学・会員と部門本部との連絡役を日常的に担っている。

プロジェクト研究の推進

それぞれ約2年の期間で、特定のテーマ研究に取り組むプロジェクト委員会を組織し活動している。

・音楽科モデル・カリキュラム検討委員会(2015～2016年度)

成果は、論文「2017版 教員養成音楽科モデル・コア・カリキュラムの提案」(『宇都宮大学教育学部教育実践紀要』第4号[2018年]、pp.93-100)として発表されている。

・音楽アウトリーチ検討委員会(2017～2018年度)

成果は、論文「教員養成大学・学部の地域貢献に関する研究—全国音楽部門大学部会のアウトリーチ研究プロジェクトをもとに—」(『日本教育大学協会研究年報』第38集[2020年]、pp.141-152)として発表されている。

・教育研究機能強化検討委員会(2019年度～現在)

学部改組、教職大学院の設置、複数大学間の連携など大学改革の時代にあって、音楽部門および部門の大学教員が今後担うべき新たな役割、成すべき教育・研究のあり方と可能性を探求・検討する。

会報の発行

部門の活動記録として、年に1度(10月頃)に会報を発行し、全会員に配付している。

最新の第44号(2019年)はB5判・全85ページ構成で、内容は、役員名簿、第44回全国大会記録、地区代表委員会記録、地区会記録、決算・予算書(複写)、規約・内規・申合せ、会員名簿などから成る。

(宇都宮大学 教授)